

大阪経済の情勢（2025 年 10月指標を中心に）

「大阪経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額は増加。新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;9月)は増加。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は減少。輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、アジア向け・中国向け・EU向けで増加。輸入額は減少。

供給面では、生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府(9月)は、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(9月)は上昇。全国の生産(10月)は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。雇用は、持ち直しの動きがみられる。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(9月)は上昇。

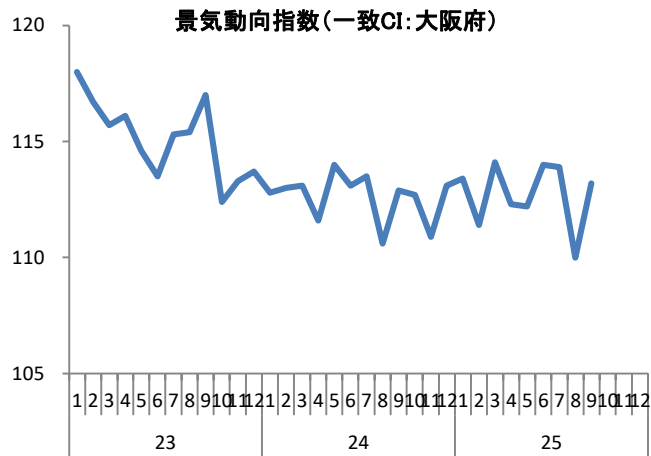
先行きでは、物価上昇等による経済への影響や、世界の経済・金融の動向について、引き続き注意が必要。

需要									
	総合	消費				投資		貿易・観光	
	一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(大阪)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
10月		▲	▲	▲	▼	▲	▲	▲	▲
9月	▲	▲	▲	▲	▼	▼	▲	▲	▲

供給						*前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。
	生産		倒産	雇用		
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)	
10月		▲	▲	▼	▼	
9月	▲	▲	▼	→	▲	

●景気動向指数(CI)

大阪府(9月)では、一致CIは上昇、先行CIは横ばい。大阪府(一致CI)では、主に「生産財出荷指数」「人件費比率(製造業)」が上昇に寄与。



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」 ※2020 年=100

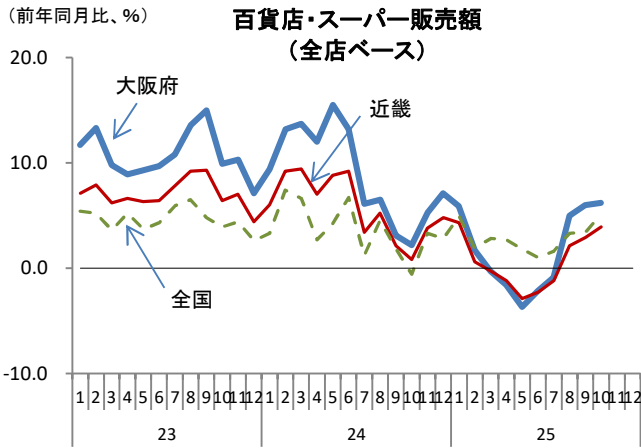
一致CIの個別系列の寄与度※（大阪府、9月速報）

百貨店売場 面積当たり 販売額	大阪税関 管内輸入通 関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人 倍率	所定外労働 時間指数 (製造業)
▲0.01	0.30	0.81	1.16	0.86	▲0.03	0.11

※CIの変化が、個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

●個人消費

個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額は増加。新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;9月)は増加。



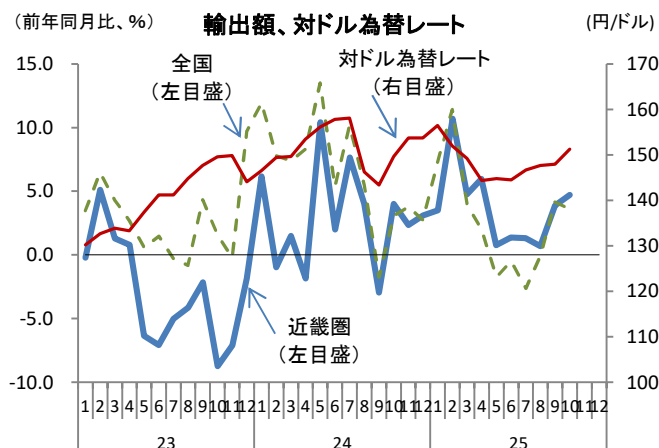
(資料) 近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」

業態別の増減（大阪府、全店、前年同月比（%）、10月速報）

大型小売店 合計		6.2
うち	百貨店	8.0
	スーパー	4.1

●貿易

輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、アジア向け・中国向け・EU 向けで増加。輸入額は減少。



(資料) 大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」 ※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

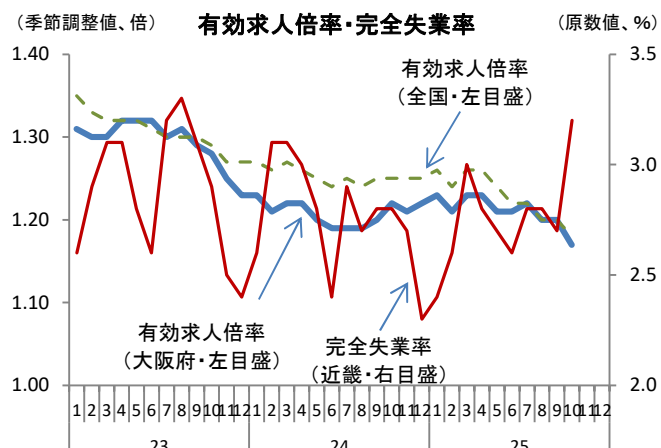
主要地域(国)別の増減(近畿、前年同月比(%))、10月)

アジア(含む中国)	4.8	20ヶ月連続の増加
中国	6.2	2ヶ月連続の増加
ASEAN	▲0.4	2ヶ月ぶりの減少
EU	18.1	5ヶ月連続の増加
アメリカ	▲3.3	3ヶ月連続の減少

(資料) 大阪税関「近畿圏貿易概況・速報」

●雇用

雇用は、持ち直しの動きがみられる。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(9月)は上昇。



(資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※近畿の完全失業率は原数値。

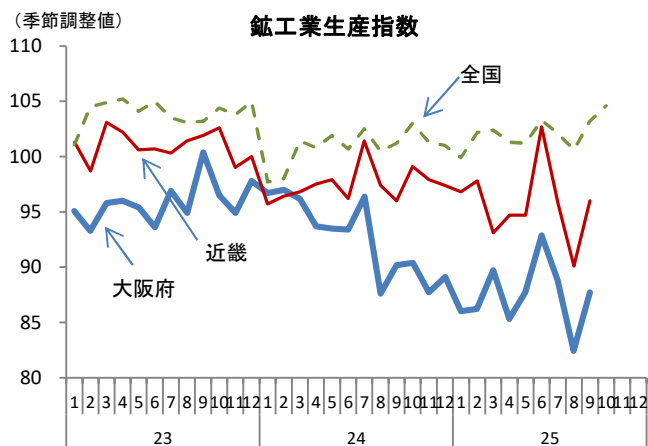
新規求人数の主要産業別増減(大阪府、前年同月比(%))、10月)

産業計	▲6.4
建設業	▲8.3
製造業	▲15.3
卸売業、小売業	▲17.8
宿泊業、飲食サービス業	4.7
医療、福祉	▲4.6

(資料) 大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

●生産

生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府(9月)では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(9月)は上昇。全国の生産(10月)は上昇。



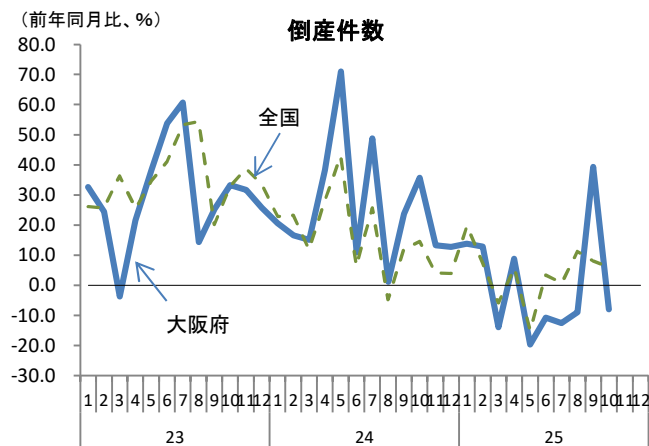
(資料) 大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」 ※2020年=100。

産業別の主な変動(大阪府、前月比(%))、寄与度順、9月速報)

上昇	金属製品工業 (37.1) : 橋りょう、スチール製缶 石油・石炭製品工業 (38.0) : ナフサ、重油
低下	生産用機械工業 (▲4.5) : プレス用金型、金属工作専用機 鉄鋼・非鉄金属工業 (▲2.8) : 普通鋼H形鋼、鋼半製品

●倒産

企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。



(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」

主な倒産(大阪府、10月)

業種	負債額(百万円)
土木建築工事ほか	22,222
住宅型有料老人ホーム運営ほか	1,500
人材関連コンサルティングほか	900
生鮮魚介類卸	450